

ゴミは訴える

ゴミ現場からの報告



モノがあふれお金さえ出せばなんでも手に入る便利な時代。「モノを大切にしよう」という標語も聞かなくなつて久しい。それを裏付けるように年々油谷町のゴミ処理量は増えている——

こんなくらし方が本当に正しいのでしょうか。私たちは一度便利な生活に慣れてしまうとそれをやめることは容易ではありません。それならせめてあとしまつくらいきちんとしたいものですね。

増え続けるゴミの量

油谷町の年間ゴミ処理量は年々増加し、昨年度は一、九八〇tに達しその経費は六、九六七万円もかかりました。(図一)

その一方で、婦人会や老人クラブによるゴミ減量化、資源のリサイクル運動が行われていきます。これらの運動は着実に定着しており、その実績も順調に伸びています。なのにゴミの量が減らないのは、各家庭から出るゴミの総体量がそれらの取り組みを上回る勢いで増え続けているからです。

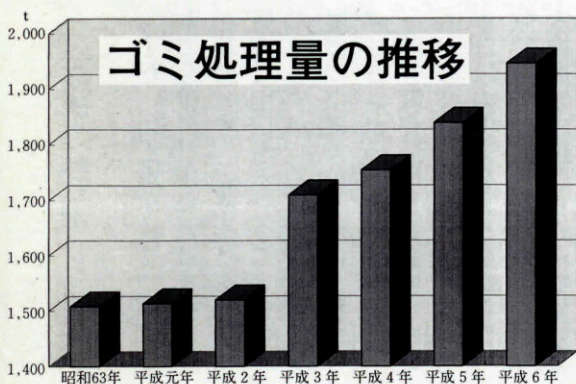


図1. ゴミの量は毎年増え続けている